

市民と議会

小田原市議会を考える市民の会ニュース

HPは 小田原市議会を考える市民の会 で 検索 して下さい



発行 第 **4** 号 2011.4.11

編集 小田原市議会を考える市民の会
発行責任者 平野 茂樹
連絡先 090-2907-3200

どんな議員を選べばよいの？「出たい人より出したい人を！」

《議会の位置づけ》

議会は、**市政の中で最上位、しかも最終の意思決定機関**です。議会の決定は市長といえども覆すことが出来ません。その議会に参加出来るのは、当然ですが市議会議員だけです。

その**議員を選ぶのは市民**ですので、議会の位置づけを考え市政を俯瞰（高所から広く見渡すこと）出来る見識を持つ候補者を選ぶことが結果として、**より良い市政**になると信じています。

《市民と議員の関係》

市民は選挙を通して、市政参加代理権を議員に**信託**（信頼し託する）し、議員はこれを**受託**したことになります。とすると受託者たる議員は、信託した市民に市政の動向や自分の議会活動を説明する「**説明責任**」があります。

《公約を守る人》

議員立候補者は、選挙公報に「**立候補に当たっての抱負**」を記載し、市民に訴えています。そこで当会では**4年前の公約の実現度**を、市民のみなさんと確認するため、議員に「**目標実現の為に、努力されたこと。調査、質問、提案等で実現したことや途中経過を教えてください。**」と投げかけました。回答結果は下記の通りです。

尚、当会は「**市民と議会の懸け橋**」を目指し活動しています。HPには市民のみなさんに、**わかり易い議会情報満載**ですので是非、検索して下さい。またアンケート結果を取り纏めた冊子も頒布しております。（1部 100円）投票の際の、参考になさって頂けましたら幸いです。

《市民と議会の懸け橋アンケート》 結果

アンケート内容（紙面の都合上、問2への回答のみ掲載いたしました。他はHPでご覧下さい。）

1. 目標実現の為に努力されたこと。調査、質問、提案等で**実現したことや途中経過**を教えてください。
2. **今の議会のここを変えたい！**と思うことがありましたら教えてください。
3. 新『**総合計画**』へのコメントを、お願いします。

氏名	会派	前回	今回	掲載No.	氏名	会派	前回	今回	掲載No.	氏名	居住地	前回	今回	掲載No.
鈴木 美伸	至誠	有	なし	—	檜山 智子	緑の風	有	有	8	小澤峯雄	栢山	有	有	17
武松 忠	至誠	有	有	1	志澤 清	グループ創和	なし	なし	—	神永四郎	南町	なし	なし	—
飯山 茂雄	至誠	有	有	2	植田理都子	グループ創和	有	有	9	木村正彦	矢作	有	有	18
木村 信市	緑の風	有	有	3	堀村 逸郎	公明党	有	なし	—	澤地義則	久野	なし	なし	—
安野 裕子	緑の風	有	有	4	今村 洋一	公明党	有	有	10	野坂 稔	下大井	有	有	19
大村 学	グループ創和	有	なし	—	大野 真一	フォーラム小田原	なし	なし	—	鈴木敦子	根府川	有	有	20
横田 八郎	グループ創和	有	なし	—	細田 常夫	フォーラム小田原	なし	なし	—	鈴木紀雄	浜町	なし	なし	—
奥山孝二郎	公明党	有	有	5	井原 義雄	新生クラブ	有	なし	—	竹村忠孝	鴨宮	有	有	21
小松 久信	公明党	有	なし	—	谷神 久雄	新生クラブ	有	有	11	本杉芳和	扇町	なし	なし	—
三廻部周雄	フォーラム小田原	なし	なし	—	原田 敏司	日本共産党	有	有	12	楊 隆子	酒匂	有	有	22
杉山 三郎	フォーラム小田原	有	なし	—	関野 隆司	日本共産党	有	有	13	吉田良和	小八幡	有	有	23
加藤 仁司	至誠	有	有	6	田中利恵子	日本共産党	有	有	14	笠原豪人	本町	なし	なし	—
俵 鋼太郎	新生クラブ	なし	なし	—	安藤 孝雄	本町	有	有	15					
佐々木ナオミ	緑の風	有	有	7	井上 昌彦	栄町	有	有	16					

* 議席番号順です 氏名 印の方は市議会議員選挙に不出馬予定です 新人候補者の会派欄は地区名で表示

「問2. 今の議会のここを変えたい！と思うことがありましたら教えてください。」

(紙面の都合上、アンケートの問2への回答のみ掲載いたしました)

1 武松 忠

- ①議員全員が、最低でも各定例回数の年4回は、市政報告の発行と市政報告会を行う。
- ②常任委員会の議員傍聴が少ないため、議員間の情報格差がある。会議録に議員傍聴者氏名も記録し公開する。
- ③市や公社と土地の売買や契約を議員が行った場合の公開。
- ④政務調査費で行った視察の報告書提出の義務化と公開。
- ⑤監査委員が、財務会計システムを閲覧できるようにする。

2 飯山 茂雄

2番への回答は、ありませんでした。

3 木村 信市

<たくさんありますが、お金をかけずできることから着実に実行していきたい>

- ほとんどが単独で実施している「議会報告会」を共同（複数）で実施すること。制度化すること
- 議案や陳情等に対する「議員毎の賛否」を、議会ホームページ等で公開すること（1期目から主張）
- 本会議場のレイアウトを変え、「対面式」で議論できる形にすること
- 「議会だより」の質問・答弁の掲載内容を、再質問以降のより大事なやりとりとすること

4 安野 裕子

- ①議案に対する議員個人毎の賛否を公開する(過去において市民から陳情が提出された)
- ②陳情者の陳述の機会を保障する(現在は常任委員会、正・副委員長が受理時にききとり)
- ③「市議会だより」の編集を工夫する(一般質問の記事内容を再質問まで拡大)

5 奥山孝二郎

- ① 議会基本条例の委員として「開かれた議会」「解り易く親しみある議会」をめざしたい。

例えば、既に市長が実施している、FMおだわらを活用した番組があるが、議会としても、同様に活用して市民への情報発信をしていきたい。具体的には今後の検討課題としたい。

市長（行政）の一方通行的な情報発信だけでなく、行政のチェック機関である議会としての是々非々の情報発信をしたい。

6 加藤 仁司

議員の日々の活動の成果は、それぞれが情報発信していくしかないのが現状です。しかしながら財力や組織力によりその差異は当然あり、多くの住民の方々に届けるのは大変難しいものです。

議会改革検討委員会は毎日設置されていますが、各議員の紹介ページに自身のブログやHPのアドレスを載せることすら不公平であるとの理由で未だに掲載されていません。

少なくとも、情報化社会の中でこれくらいは変えられる議会にしたいと思います。

7 佐々木ナオミ

- ・開かれた議会を目指し、議会基本条例の制定が必須！
- ・多くの市民が市議会の情報を得ている「市議会だより」。紙面を増やし、さらに分かりやすい内容へと充実させる。
- ・市議会主催の議会報告会の開催。
- ・市議会とは関係ありませんが、公職選挙法の見直しを国に求める。国民にとって分かりやすい法律にし、誰もが自由に政治参加しやすい風土が、市民自治を強めます。

8 檜山 智子

- ①年齢層を若くしたい。
- ②政策内容やそれへの価値判断を議論できるようにしたい。委員会での自由討議の導入。
- ③委員会での陳情者の意見表明や議員との質疑などを実現したい。
- ④賛否の公開、議会としての報告会の開催など、市民に開く姿勢を強めたい。

9 植田 理都子

現状の「討論」は自分の主張考え方をひとりで主張するだけに終わってしまう。
議員間で討論し、より良い方向性が導かれるように、議員相互が考えを述べあうしくみが
必要ではないかと思っている。

10 今村 洋一

議会主催の議会報告会の開催、市民主催の議員の出前講座的な報告会の開催を実現したい。
重要案件の賛否についてはその理由も明確にできる形での公開をしたい。
議員間での政策の議論を活発にしていきたいその延長線上に自由討議があると思う。
市民にどの議員がどのように行動しているかの情報が提供できるような仕組みを作りたい。
(広報活動の充実)

11 谷神 久雄

市民、執行部等、信頼関係が第一かと思います。 引退の身ですので遠慮します。

12 原田 敏司

○ まず請願者や陳情者が議会で請願や陳情の趣旨説明が出来るようにすべきです。各議員が本会議や
委員会において議案に対して賛成したのか、反対したのか、どのような態度をとったのか市民に公表する
ことも大変重要です。議員は市民に様々な懸案事項に対し自らの見解を公にすべきです。そして市民の意
見を聞き議論すべきです。開かれた議会にするためには、そうした努力が必要不可欠だと思います。

13 関野 隆司

請願者や陳情者が議会で請願や陳情の趣旨の説明が出来るようにすべきです。
各議員が本会議や委員会において議案に対して賛成したのか、反対したのか、市民に公表する
ことも大変重要です。そのためには、採決の仕方も一括採決でなく、反対の議案があるとき時
は、個々に採決することも必要です。
議員は、市民に様々な懸案事項に対し、見解を明らかにし、市民の意見を聞き、議論し、開か
れた議会に力を尽くすべきです。

14 田中利恵子

長期化する不況で、市民や中小零細業者の暮らし・福祉などが大変になってきているので、ぜひそうし
た日々大変な方たちの立場に立った市政を目指す、議会にしていきたいと思う。そのためには率先して
がんばりたいと思っている。
また、それらを目指していくためにも議会運営のさらなる民主的な運営に努めていきたいと思う。
議員の投票行為の賛否の公開、陳情の陳述等市民にわかりやすく、丁寧な議会としたい。

15 安藤 孝雄

「今の…」ということなので、先日、初めて総務常任委員会と本会議を傍聴して、実際
の様子を見てきました。一市民の立場からすれば、気軽に傍聴も可能だし、広報誌も配布
されるので、一定の内容は理解できますが、多くの市民の関心をより高めていく手立てを
考えていく必要はあると思います。議会のさらなる活性化については、議員という立場を
与えられてから、内部から積極的に発言をしていきたいと考えています。

16 井上 昌彦

今、地方議会の不信が日本中に広がっています。なぜでしょう？議会傍聴に一度行けばわかると思いますが、議会が儀式化しすぎ、市民生活とかけはなれた会議になっているからだと思います。市議会は市民生活の延長です。市民の為に議論の場にしたい。私だけでなく、多くの市民がそう考えていると思います。

17 小澤 峯雄

3月1日の議会、傍聴してきます。まだ勉強中です。

18 木村 正彦

あらゆる分野で「変革」が呼ばれています。議会としても改善すべき点は「変える勇氣」を議員1人1人が持って議会改革の旗印のもとに「改革・改善」を進めるべきだと思います。

19 野坂 稔

小さな町で執行者側の一員として議会に出ておりましたので感ずるところは多くあります。まずやることは議員一人ひとりの意識改革です。前例や慣例にとらわれない市民に見える場での議論を深め、より信頼される市議会に変えていく努力をしていきたい。

20 鈴木 敦子

①議会は行政側に質問するだけの場ではなく議論する場であるべきと考えます。市政へのチェック機能を果しながら、よりよい小田原へ市のため・市民のためになるような、提案型の質問をして行きたいと考えます。

②若い世代や子育て世代にも興味を持ってもらえるよう努力したいと思います。市民と議会を双方向のコミュニケーションでつなげて行きたいです。

21 竹村 忠孝

私は新人ですし当選もどうか分かりませんので議会を変えるといっても中に入って議会のことを理解してからでないと、よくわかりません。

ただ、少なくとも私の経験として行政の中に入って行動していたことから感じることは、行政の中枢部が不透明で事務方任せになってしまっていることはあります。

議会よりもむしろ、行政の立て直しが急務であろう。

22 楊 隆子

議会の傍聴は数回であり、会議録の学習も限られたものであるため議会の状況を100%認識しておりません。

しかし、限られた認識の中でも、庶民と母、女性に対しての施策が少ないように感じられます。

そのため、女性特有のがん検診の受診率の向上策や、高齢者福祉、子育て支援の充実について変えてまいります。

23 吉田 良和

今回、貴会のアンケートにもある通り、「議会が何をしているのかがよく分からない。」ここを変えていきたい。議場に座っているだけの議員ではなく、市民の皆さんとともに課題を抽出し、解決する。そのためにも「足」で市政を担う議会にしたい。

※ 頂いた回答は紙面構成の都合上、内容はそのまま、活字に打ち直させて頂きました。

ご協力、ありがとうございました。
(敬称は省略させていただきました)